



補足資料

各種セミナーの開催実績と今後の開催予定（2016年度以降）

2016年度の開催実績

No.	名称	開催日時
1	VIPOアクターズワークショップ	2016年5月
2	3時間でいっきにわかる！映像基礎知識セミナー	2016年6月
3	プロデューサーズカフェ	2016年6月
4	福井健策弁護士コンテンツ法律セミナー『配信プラットフォーム契約の攻略法』	2016年8月
5	「アクターズセミナー賞選定オーディション 2016」	2016年10月
6	「映画プロデューサー養成セミナー 基礎編」	2016年11-12月
7	「コンテンツ業界インバウンド・トークセッションin もしもしにつぼんシンポジウム2016」	2016年11月
8	【アクターズワークショップ】演技指導&映画『ミッドナイト・バス』オーディション	2016年12月
9	福井弁護士による「AI（人工知能）著作権の攻略法」セミナー	2017年1月
10	クラウドファンディング活用セミナー	2017年2月
11	クラウドファンディング活用セミナー第2弾	2017年3月

2017年度の開催実績

No.	名称	開催日時
1	VIPOアクターズワークショップ第3弾（篠原監督）	2017年4月

2017年度の開催予定

No.	名称	開催日時
1	インタメ・マーケッター養成講座 全4回	2017年5-6月
2	3時間でいっきにわかる！映像基礎知識セミナー	2017年5月

プログラム内容（前半）

Day1 午前

オリエンテーション

プログラムの概要や注意点などの説明と質疑応答を行った後、ワークショップを通して参加者同士の相互理解と交流を図る。

Day1 午後

リーダーシップ開発と組織成果の達成

リーダーシップとマネジメントの違いを理解し、ビジョンを作成する。目標達成への課題を整理し、タイムマネジメントと部下のモチベーションレベルを把握する手法を理解する。

Day2 午前

経営戦略の基礎 ① 成長戦略

タクシー業界に革新を起こした日本交通のケースを通して、製品ライフサイクル、製品ポートフォリオ、製品市場マトリックスなどの成長戦略を学び、意思決定力を鍛える。

Day2 午後

経営戦略の基礎 ② 競争戦略

独創的な商品でヒットを連発する小林製薬のケースで、3つの基本戦略、5フォース、市場地位別戦略、ポジショニング戦略といった競争戦略を体得する。

Day3 夜間

プレゼンテーション

わかりやすくインパクトのある話し方と資料で、相手を動かすプレゼンを学ぶ。3.5時間で、ストーリーの組み立て方・PowerPointの作り方・デリバリーまでを網羅。実習を繰り返して、スキルを定着させる。

Day4 午前

経営戦略の基礎③ 環境分析

インド市場を開拓した公文式教室のケースを基に、SWOT分析を学び、自社の強み、弱み及びグローバルな事業環境に基づき、適切な判断を起こせるような戦略的思考力を身につける。

Day4 午後

イノベーションプロセスと プランニングプロセス

斬新なアイデアを促す環境を作り出し、問題解決と改善のためのイノベーションプロセスをマスターする。ビジョンを実行に移すステップを明確にして実効化する。

Day5 夜間

評価・コーチングプロセスと 問題分析・意思決定

組織の目標を測定可能な結果へ置き換え、明確な業績目標を設定する。コーチングプロセスを実践して部下の業績を改善する。問題の本質を見抜く3つの意思決定方法を習得し、「ストレスに打ち勝つ原則」を実践する。

プログラム内容（後半）

Day6 夜間

潜在能力の発見と 権限移譲のプロセス

メンバーのモチベーションを高めるファクターを特定し、人間関係強化の原則を使って、効果的な関係を築く。
メンバーを育てるために仕事と責任を与え、パフォーマンス評価基準を示す。

Day7 夜間

ファイナンス①

財務会計と管理会計およびその違いをコンテンツ業界のサンプルに触れながら学ぶ。

Day8 夜間

コンテンツ業界 経営者講演会

コンテンツ業界の経営者から、ビジョンや成功体験・失敗談を直接聞くことで経営マインドを醸成し、グループでディスカッションを通して学びを吸収する。

Day9 夜間

ファイナンス②

損益分岐点、新規事業（プロジェクト）計画作成および評価方法を学ぶ。

Day10 午前

ミスへの対応・コミュニケーション と効果的なミーティング

人間関係のアプローチを使ってミスを効果的に処理し、適切にマネジメントする。
部下へのフィードバックの機会をつくり、効果的な質問を行い、リスニングスキルを強化する。
リーダーシップの原則を使って会議をリードする。

Day10 午後

成果の発表と成長の コミットメント（プレゼン発表会）

自らの組織に変化を売り込み、アイデアを実行計画へと移す能力を示す。
このトレーニングの個人的な結果を示し、将来のリーダーシップ開発のためのゴールを設定する。

Day11 夜間

最終発表審査会

グループワークで作成したコンテンツ業界発展のためのイノベーションプランを、受講者の所属企業の経営者たちの前で、グループごとにプレゼンテーションする。

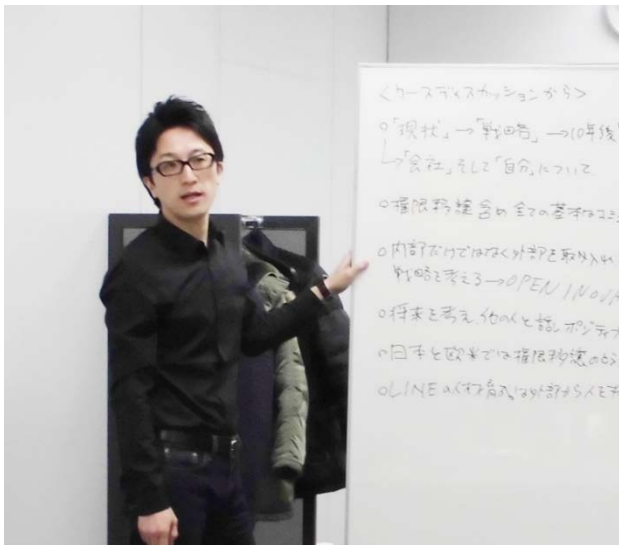
受講者の声

※第5期受講者9名

Q. 本コースを他の人に薦めますか？



- **コンテンツ業界に特化したマネジメント、リーダーシップ**を学ぶ研修としてはこれ以上のものはないと思う。この内容で、あの金額設定はリーズナブル！
- 知識はもちろん、**自分自身と向き合う良い機会**になると思います。
- 未来を見据えた**今の働き方のレベルアップ**が見込めます！できれば若いうちに参加されることをオススメします。
- **他社の仲間との交流**は非常に有益です。業界内のネットワークができます。



プログラム内容

■ 企画力強化 ■ 推進力強化 ■ 目標設定・成果発表

リーダーシップ	プレゼンテーション	ロジカルシンキング	発想法
<p>リーダーとは？</p> <p>チームメンバーをどのようにしてリードしていけば良いのか？どのようにコミュニケーションをするべきか？リーダーになるための心構えとコミュニケーションを身につける。</p>	<p>相手を動かすプレゼン</p> <p>わかりやすくインパクトのある話し方と資料で、相手を動かすプレゼンテーションを学ぶ。短時間でストーリーの組み立て方、PowerPointの作り方、デリバリーまで網羅。実習を繰り返してスキルを定着させる。</p>	<p>思考力を鍛える</p> <p>すべての仕事のOSとなる論理思考を鍛える。正しく考え、主張するための道筋の作り方、関係者に納得してもらうための資料の作り方など、リーダーとして周囲を動かしていくためのスキルを身につける。</p>	<p>アイデア・企画を考えるための「道具」</p> <p>ひらめきに頼らず、アイデアを生み出し企画をつくりあげていくためのさまざまな「道具」の存在を学ぶ。個人やグループで実際に「道具」を使い、自業務で活用できる状態を目指す。</p>
プロジェクトマネジメント	ファイナンス	成果発表会	
<p>マネジメントに必須の仕事の「型」</p> <p>プロジェクトの納期と品質を両立させる仕事のしかたを学ぶ。主要なツール・テンプレートの使い方から、時間・コスト管理、リスク対策の立て方など、プロジェクトの成功確率を高める実践力を身につける。</p>	<p>ビジネスの現場で使える「知恵」</p> <p>財務会計と管理会計およびその違いをコンテンツ業界のサンプルに触れながら学ぶ。損益分岐点、新規事業（プロジェクト）計画作成および評価方法を学ぶ。</p>	<p>学び・成果を発表し、今後の成長をコミットする</p> <p>プロジェクトチームおよび個人の発表を行う。チーム発表は、指定のテーマに基づき、本講座で学んだ知識・スキルを活かしてプロジェクト企画案を作成する。各社からゲストを招き、投票していただく。個人発表は、本講座の開講時からの成長を振り返るとともに、半年後のプロジェクトリーダーとしての自分をイメージし、それを実現するための「自分強化プロジェクト」を作成して発表する。</p>	

リーダーシップ

市井 三衛 氏

VIPO事務局長



慶應義塾大学経済学部卒業。米国ピッツバーグ大学経営大学院修士課程（MBA）修了。デール・カーネギー認定トレーナー。東京貿易、クラフト・ジャパン、バクスターを経て、ワーナーミュージック・ジャパン専務取締役兼CFO、EMIミュージック・ジャパン代表取締役社長兼CEO、日本レコード協会副会長を歴任。2013年に映像産業振興機構ジャパン・コンテンツ海外展開事務局（J-LOP事務局）事務局長に就任し、2015年4月から現職。

プレゼンテーション

西脇 資哲 氏

日本マイクロソフト
エバンジェリスト



1996年から日本オラクルにてプロダクトマーケティングおよびエバンジェリストを13年歴任。現在は日本マイクロソフトにて移籍して現職。IT業界屈指のクリスマプレゼンター／デモンストレーター。講演や執筆活動も行い、IT企業だけでなく、製造業・金融業・官公庁でのプレゼンテーション講座を幅広く手掛ける。また、文部科学省より指定を受けたSSHや大学での講座をはじめ小学校や中学校でのプレゼンテーション授業を実施している。

ロジカルシンキング

東 耕平 氏

HRインスティテュート



大学卒業後、食品メーカーにてビジネスルール策定及び人事評価制度構築、研修計画策定、新卒採用業務に従事。のちにHRインスティテュートに参画。学生、若手社会人の育成に強いミッションを持つ。現在は、ロジカルシンキング、プレゼンテーションなどビジネススキルの研修を中心に、人材育成トレーニングなどにおいて活動している。

発想法

加藤 昌治 氏

博報堂



1994年博報堂入社。新商品発売・新事業開始などのマーケティングPR領域と、M&A・事業統合などのコーポレートPR領域の戦略・企画立案、実施を担当。2005年度に日本PR協会主催の「PRアワード」でグランプリを受賞するなど多数の受賞歴を持つ。主な著書に『考具』（阪急コミュニケーションズ）、『アイデア会議』（大和書房）、『アイデアパーソン入門』（講談社）、『企画のプロが教える「アイデア講義」の実況中継』（三マーク出版）、『発想法の使い方』（日経文庫）等。

プロジェクト マネジメント

安藤 紫 氏

産業能率大学 総合研究所



大学卒業後、広告代理店にて企画営業に従事
1989年大手電機メーカー系シンクタンク事業戦略コンサルティング・グループにて、事業戦略に関わるコンサルティング活動に従事
2001年大手電機メーカーのコンサルティング部にて、情報システム再構築／導入支援を含む各種コンサルティング活動に従事、およびIT系ベンチャー企業にて、シックスシグマ、バランス・スコアカード導入支援他、各種コンサルティング活動に従事
2003年学校法人産業能率大学入職現在に至る

ファイナンス

東海林 正賢 氏

KPMGコンサルティング ディレクター



メディア業界を10年以上担当し、業務改革や新事業立上支援などのプロジェクトを支援。
【担当業界】出版、テレビ、アニメ、テーマパーク、音楽、ゲームなどのコンテンツ産業全般
【主なプロジェクト実績】
・出版会社における新規事業企画
・コンテンツ制作会社におけるバックオフィス改革
・テレビ局における新ビジネス企画
・エンターテインメント会社における全社ERP導入プロジェクト

受講者の声

※第3期受講者13名

Q. 本コースを他者に薦めますか？

推奨コメント

薦める
100%

- 非常に充実した研修だった。
30代前半で受けたことは、大きな財産になった。
- リーダーになりたいと思ってる人が、成長できる場。
経験や考え方が違う、他社の意欲ある人達とのディスカッションを通して、自分の経験値を高めることができる。
- 「外を知れ！」・・・優秀な若手・中堅社員と、仕事とは別に関われる良い機会だと思う。
- 仕事との両立は大変だが、普段は得られない経験がある。
様々な職種に適用できる、能力の素地が手に入る。
- 「プロジェクトリーダー」について、体系的な考え方を得る機会。
今より幅広い知識を身に付けたい人、成長したい人、そしてやり抜く根性がある人はぜひ！



88社

<映画> 7社

- ◆アスミック・エース ◆ギャガ ◆松竹
- ◆ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント
- ◆東映 ◆東宝 ◆日活

<映像> 6社

- ◆IMAGICA
- ◆イマジカ・ロボット・ホールディングス
- ◆エム・ソフト ◆JVCケンウッド・ビデオテック
- ◆白組 ◆ダブル・フィールド

<出版> 4社

- ◆小学館 ◆集英社 ◆トーハン ◆ぴあ

<アニメ> 7社

- ◆アニプレックス ◆エイベックス・ピクチャーズ
- ◆ゴンゾ ◆サンライズ ◆手塚プロダクション
- ◆トムス・エンタテインメント
- ◆ボイジャーホールディングス

<ゲーム> 1社

- ◆マックスゲームズ

<音楽> 13社

- ◆エイベックス・グループ・ホールディングス
- ◆SOD Create ◆キューブ ◆コロムビア・マーケティング
- ◆シエルモンテ ◆デッサントーン
- ◆日本音楽事業者協会 ◆日本音楽制作者連盟
- ◆日本コロムビア ◆ビクターミュージックアーツ
- ◆ヒップランドミュージック ◆ポニーキャニオン
- ◆ランティス

<キャラクター> 9社

- ◆サンリオ ◆小学館集英社プロダクション
- ◆ソニー・クリエイティブプロダクツ
- ◆タカラトミーアーツ ◆フィールズ ◆ブシロード
- ◆ベネッセコーポレーション ◆ポケモン

<テレビ> 12社

- ◆NHKエンタープライズ ◆GAORA
- ◆ジャパンティーヴィー ◆ジュピターエンタテインメント
- ◆スカパーJSAT ◆スペースシャワーネットワーク
- ◆東北新社 ◆テレビ東京 ◆日本テレビ放送網
- ◆フジクリエイティブコーポレーション
- ◆読売テレビ放送 ◆WOWOW

<インターネット> 6社

- ◆アムタス ◆ヴィレッジヴァンガードウェブド
- ◆ニッポンプランニングセンター ◆ベルロックメディア
- ◆ビリビリ ◆モバイルファクトリー

<広告> 4社

- ◆アサツー ディ・ケイ ◆クオラス ◆DECCI
- ◆博報堂

<その他> 20社

- ◆エポスカード ◆海外需要開拓支援機構
- ◆カクイ法律事務所
- ◆KADOKAWA Contents Academy
- ◆クリーク・アンド・リバー社 ◆国際交流基金
- ◆さっぽろ産業振興財団 ◆住友商事
- ◆想通 ◆ソニー・ミュージックコミュニケーションズ
- ◆太陽インダストリーアフリカ ◆Dolby Japan K.K.
- ◆日本マンガ・アニメトキワ荘フォーラム
- ◆BadCats ◆ハピネット ◆Parus
- ◆ブレイクポイント ◆UBMジャパン
- ◆ラドロー国際法律事務所 ◆ワークバンク



Gary Smith

4年間の米国企業での勤務の後、
日本において15年のTOEIC運営管理を経験。
2009年から、効果的コミュニケーションができるマネジャー及び
リーダーになるためのトレーニング&コーチングを中心に活動している。
(日本在住：通算25年)

<主な実績>

- デール・カーネギー公認トレーナー
- デール・カーネギープログラム共同開発及びトレーナー
(デール・カーネギー コンフィデント・イングリッシュ)
- 異文化、ビジネスコミュニケーショントレーナー
(J-Global Institute of Collaboration)
- 多国籍企業における研修トレーナー
- ビジネスコンサルティング
- 明海大学 英語講師

<指導の特徴>

日本語と英語を効果的に織り交ぜた、日本人に理解しやすい指導とネーティブである英語による実践的なビジネス英語及びビジネススキルの指導に定評がある。

講師



角田 成夫 氏 （弁理士、特許業務法人アテンダ国際特許事務所 所長）

東京電機大学機械工学科卒。旧防衛施設庁にて機械設備設計等に従事。
その後、都内の特許事務所にて特許、実用新案、意匠、商標等の知的財産関連業務に従事し、弁理士登録。
2014年、現在のアテンダ国際特許事務所を開設。

工業系の特許のみならず、**コンテンツ分野の商標等も数多く取り扱う**。現在、カクイ法律事務所と業務提携し、**知的財産の発掘から活用まで企業の知財戦略を幅広くサポート**。日本弁理士会知財経営コンサルティング 委員会委員、関東職業能力開発大学校講師（工業法規）、栃木県知財相談員。



江森 史麻子 氏 （弁護士・弁理士、大洋綜合法律事務所 代表）

金城学院大学文学部英文学科卒業、米国パークリー音楽大学卒業、早稲田大学大学院法学研究科修了（法学修士）。2002年弁護士登録（第一東京弁護士会）、2003年江森綜合法律事務所開設、2004年弁理士登録、2009年大洋綜合法律事務所開設。

駒澤大学法科大学院教授（知的財産法）・島根大学法科大学院非常勤講師

著作権を中心とした知的財産権分野を専門とし、ライセンス契約を中心とする企業法務のほか、一般 民事・刑事事件も扱う。著作権法学会会員、国際著作権法学会（ALAI JAPAN）会員



石井 邦尚 氏 （弁護士、カクイ法律事務所 代表）

東京大学法学部卒、コロンビア大学ロースクール（LL.M.）修了
1999年弁護士登録（第二東京弁護士会）、2004年カクイ法律事務所開設

企業法務を中心に取り扱っており、中でもIT関連の法務、**コンテンツビジネス関連の法務に力を入れている**。
過去に法科大学院での講義経験も有する（IT法、アメリカ法）。
著書に「ビジネスマンと法律実務家のためのIT法入門」（民事法研究会）など。

プログラム パートナー

KPMGコンサルティング



講師：東海林 正賢 氏（ディレクター）

メディア業界を10年以上担当し、業務改革や新事業立上支援などのプロジェクトを支援。

【担当業界】出版、テレビ、アニメ、テーマパーク、音楽、ゲームなどのコンテンツ産業全般

【主なプロジェクト実績】

- 出版会社における新規事業企画
- コンテンツ制作会社におけるバックオフィス改革
- テレビ局における新ビジネス企画
- エンターテインメント会社における全社ERP導入プロジェクト



監修：山田 和延 氏（パートナー 公認会計士）

経理領域、経営企画領域を中心に、約16年にわたりプロセス改善・システム導入のコンサルティングを実施。

【専門分野】財務・管理会計

【主要領域】単体会計システム導入、決算早期化/業務効率化、IFRS導入、連結会計システム導入、シェアードサービス構築 等

【主なプロジェクト実績】

- 国内大手エンターテインメント会社：単体会計システム導入
- 国内大手玩具メーカー：グループレポートシステム構築 他多数